

思考を広げる算数科授業

2年1組の算数「九九のきまり」の授業を参観しました。まず、前日学習したりんごの数を求める式「 4×12 」(4個ずつ12列)を想起させた上で、本時は12個ずつ4列であり、式にすると「 12×4 」であることを押さえます。次に、既習の「かけ算のきまり」を思い出させ、九九にないかけ算も「かけ算のきまり」を使えば求めることができることに気付かせていきました。図をもとに考えた式や説明は、撮影してロイロノートに送り共有します。教師は、それらの考え方を、どの「かけ算のきまり」を使ったかで整理していきます。児童も、自分の考えが誰の考えと一緒にするのか比較しながら考えていきました。本時は4通りの考え方が出てきました。児童は、「かけ算のきまり」を用い、九九を広げて、いろいろな考え方を見出すことができたようです。今日は、初任の先生も一緒に参観し、授業後、子供達に感想を伝えました。

